



# 第6回「第三セクター等のあり方に関する研究会」 第三セクターの参考事例

2014年2月6日

株式会社日本総合研究所

藤波 匠

## 説明内容

### 1.西粟倉・森の学校（岡山県）

森林の有効活用と高付加価値化を図る第三セクター

### 2.四万十ドラマ（高知県）

民間企業となった元第三セクター

## 西栗倉村

人口約1550人

厚生労働省の人口予測  
2040年 人口約1000人  
高齢化率65%





出典: Google map

## 智頭急行について（簡単に）

- 80年代 国鉄による建設、半ばで断念
- 86年 第三セクター智頭鉄道株式会社設立
- 94年 智頭線開業
- 06年 三セク鉄道として初の配当実施

- 収益源は、スーパーはくと（京都ー鳥取・倉吉）
- スーパーいなばと合わせ利用者は、100万人／年
- 大都市間輸送の空白地域であったが故の成功例
- 地元住民の移動の足としての普通列車中心では、経営難は必至

なごみの空間  
特急スーパーはくと

大阪ー鳥取間 約2時間30分



2008年度 グッドデザイン賞受賞

智頭急行ホームページより

## 西栗倉・森の学校

### 2008年 百年の森林構想 旗揚げ

前西栗倉村長 道上正寿

約50年前に、子や孫のためにと、木を植えた人々の想い。  
その想いを大切にして、立派な百年の森林に育て上げていく。  
そのためにあと50年、村ぐるみで挑戦を続けようと決意しました。

### 2009年 株式会社 西栗倉・森の学校 立ち上げ

# なぜ百年の森か？

## 原木出荷・下請け地域





エンドウ  
延東義太さん

甚太郎さん生まれる 1871

明治4年 魔落置県

植林 1927

昭和2年

甚太郎さん亡くなる 1957

甚太郎さん 55歳

兄の通さん亡くなる (1954)

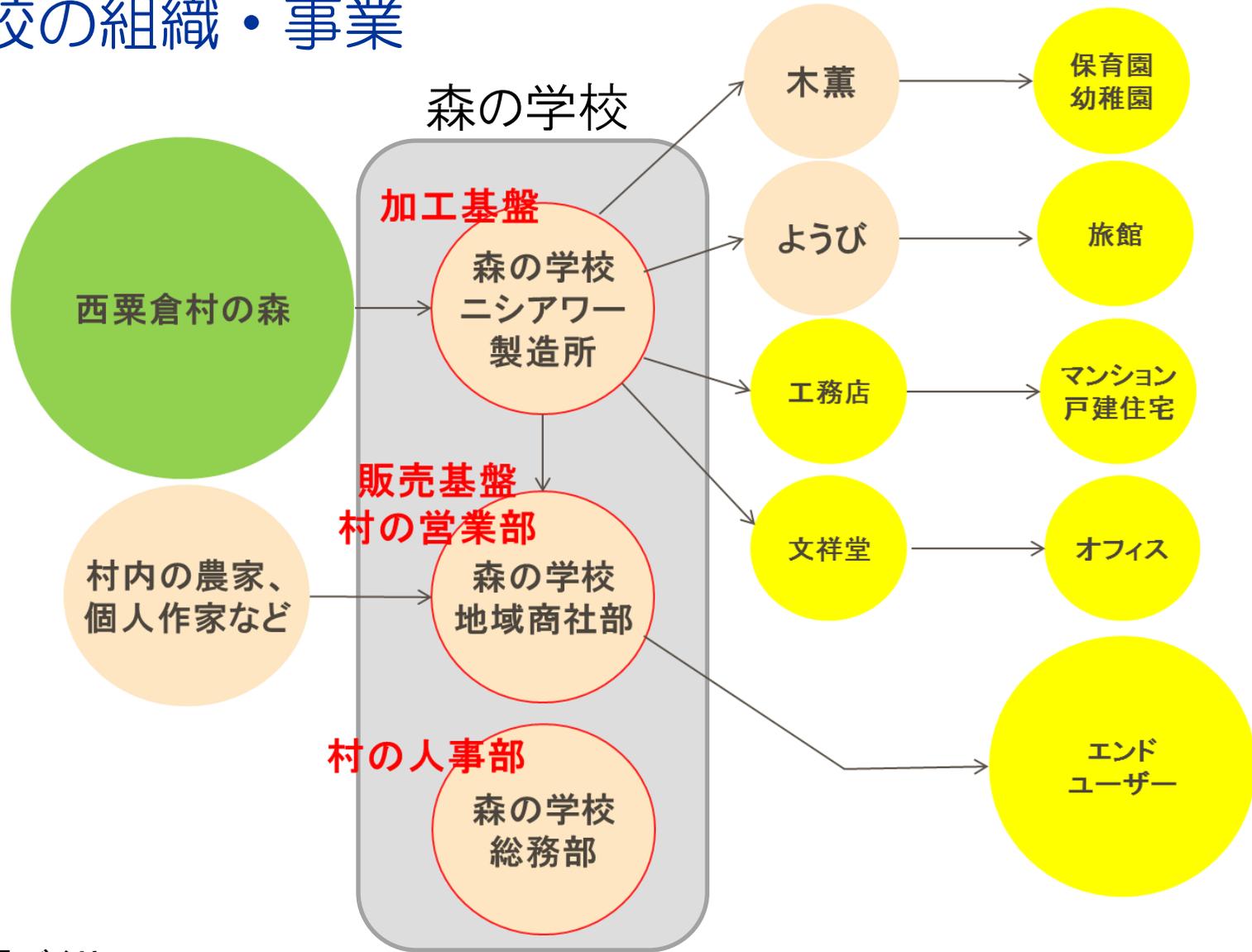
義太さん 17歳で山主になる

トリイテーブルとして出荷 2012



1800×850×710  
28.5万円

# 森の学校の組織・事業



# ニシアワー製造所(2010年)





# 木のオフィス



# Ryokan







## (株)森の学校について

資本金：131,890千円

(株)トビムシ	7,270株 (66.8%)
(株)アイワホーム	2,300株 (21.1%)
西粟倉村役場	1,100株 (10.1%)
西粟倉村民 (76名)	219株 (2.0%)

何回かに分けて第三者割当増資

2012年は、▲8,000万円

2013年は、上期で▲1600万円、下期で+600万円

2014年は、+1,500万円見込み

2012年は先行投資のため赤字拡大。  
リストラと借り入れで対応。

## (株)トビムシについて

純粋な民間企業

地域資産としての森林に光をあて、持続可能な地域再生を目指し、森林価値を高める多角的な事業を展開。

森林の施業管理、森林資産（素材）の生産・加工・販売等を自ら行うとともに、製材会社等に対する経営支援、地域ブランディングおよびマーケティングの企画・実施を支援。

「西粟倉・共有の森ファンド」ではトビムシの取り組みに共感した400名以上の個人投資家から4千万円超の出資を集め、定期的な投資家限定ツアーや地域産品の優待販売などを実施。

## 地域に不可欠な機能を提供

- 百年の森構想に沿って、地域資源を活用し、産業を興して、雇用を作る
- 公共の出資比率が低いこともあり、運営はきわめて民間的。
- 製材・加工所を設置し、直接域内外の需要家に販売。
- 地域の木材の付加価値向上に貢献。
- 若者の移住も多く、インキュベーションの場にも。

## 高知県 四万十ドラマ

1994年 第三セクターとして設立（大正町、十和村、西土佐村の三町村）

- 地域資源を生かした商品開発のためを目的（地域おこしの「なんでも屋」）
- 初代社長は西土佐村村長
- 公募で採用した社員1号が、現社長の畦地氏

1999年 補助金なしでの黒字化

2005年 出資自治体から株を買い戻し、民営化

- 経営上の意思決定を早くするため
- 出資3団体とは異なる枠組みで市町村合併の動き
- 買い取った株式は地域住民に売却
- 「じゅうみん株式会社」と名乗っている



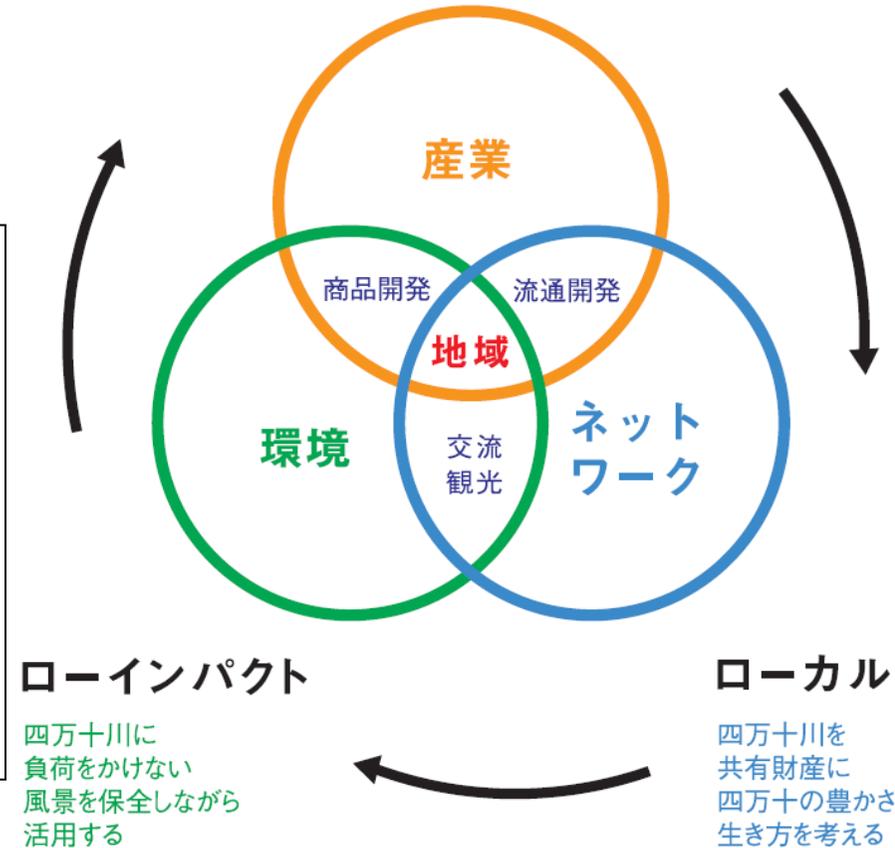
# 四万十川に負担をかけないものづくり

- 地域密着による地域資源の展開  
昔の技術や智恵を残し、新しい商品開発  
四万十のノウハウ
- 環境循環ビジネス  
新聞バッグ等の展開、  
体験プログラムの作成
- 住民が活躍できる人材育成  
地元の方が活躍できる産業育成



ローテク

地元の素材・技術・知恵  
第1～1.5次産業にこだわる



ローインパクト

四万十川に  
負担をかけない  
風景を保全しながら  
活用する

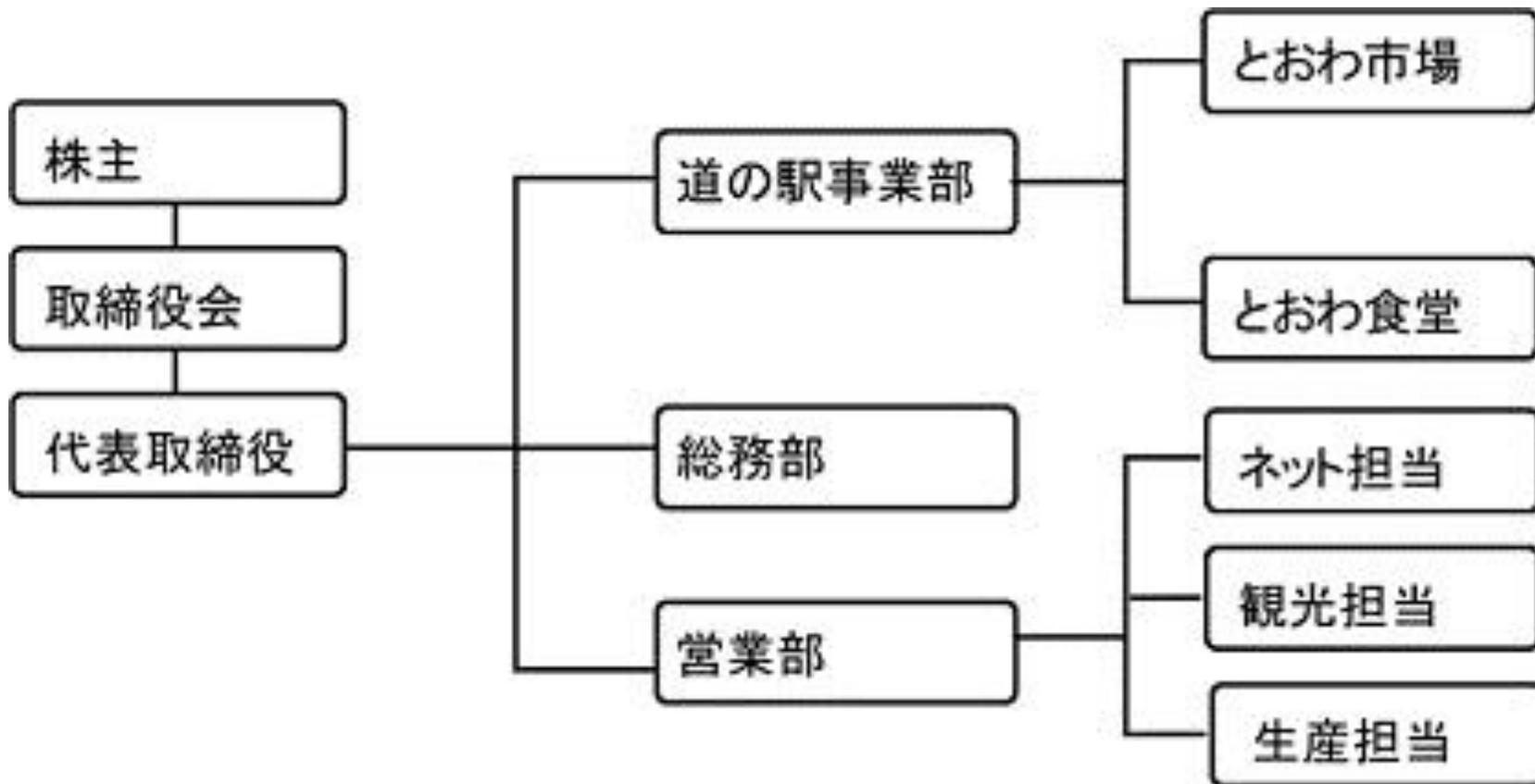
ローカル

四万十川を  
共有財産に  
四万十の豊かさ  
生き方を考える

ローフード・ローライフ

四万十川に負担をかけない  
たべもの・生き方

## 四万十ドラマの組織図

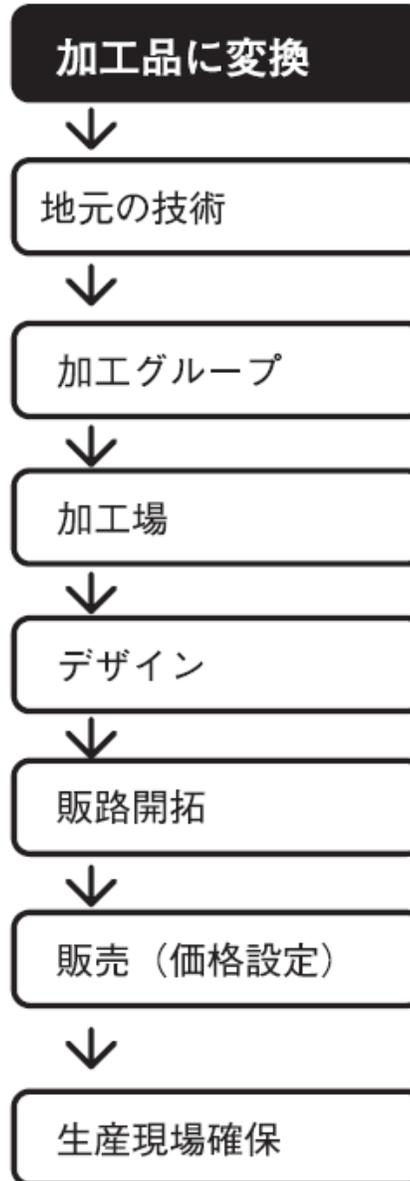


これまでは  
【原料提供のみ】



生産者は自分のつくったものが  
どんなふうに使われているか  
わからない

これからは  
【生産から販売までを生産者が行う】

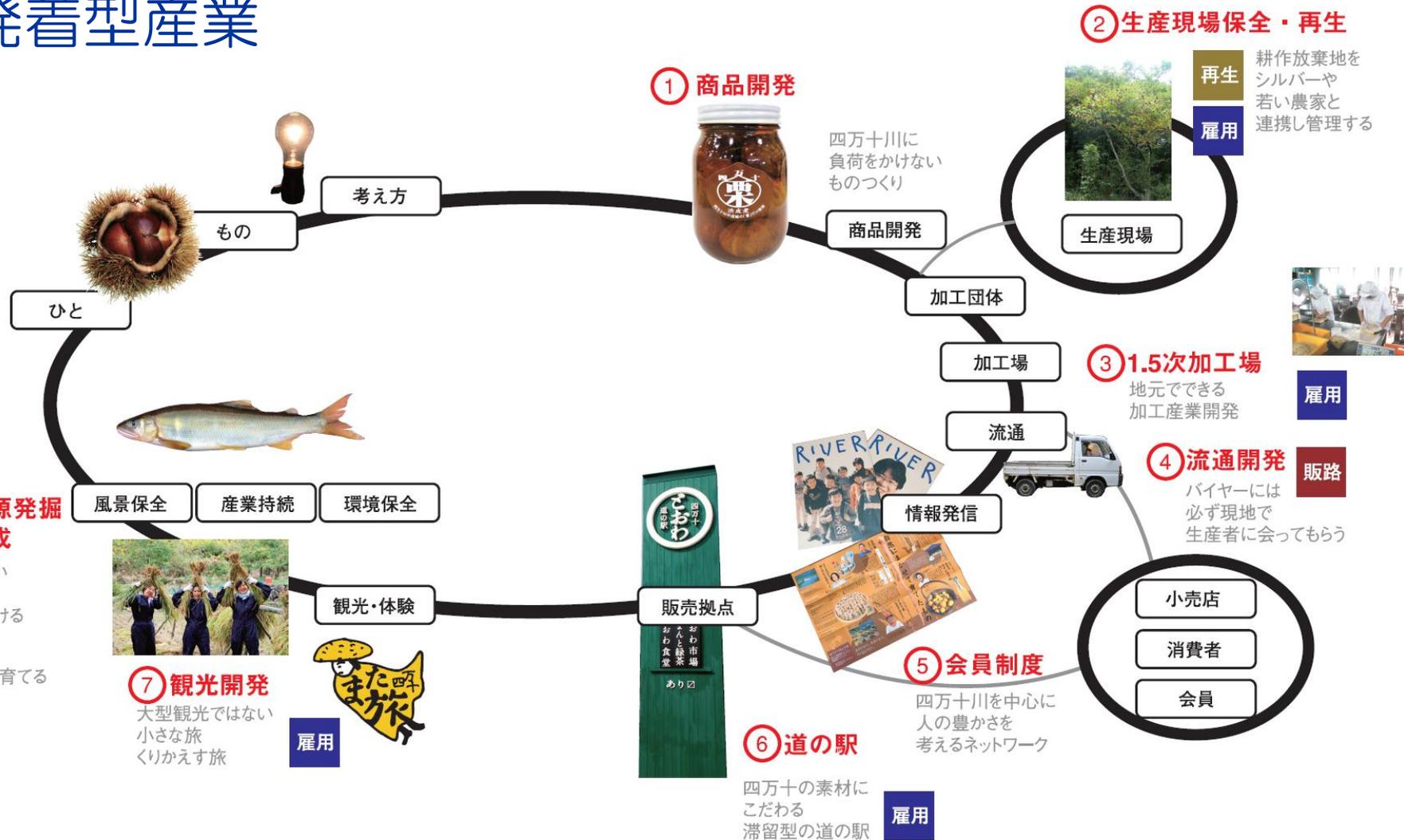


生産者自身が知恵を  
使い、組織をつくり商品  
を育てる。

自分たちでできる加工  
は自分たちで行い価格  
の設定をする。

販売にでかけることで  
現場のや顧客の実情を  
知りさらなる商品のこ向  
上につながる。

# 地元発着型産業



# 道の駅事業と体験メニュー

2007年オープン、集客15万人、売上1.3億円超



地産地消のとれたて野菜  
地元の手づくり加工品  
十和オリジナル商品の市場



四万十の季節と  
天然素材を味わう  
風景食堂

復刻製造  
四万十の  
地紅茶



道の駅のために開発された商品



天然鮎の塩焼き



天然うな井



## 【体験メニュー】

四万十川で屋形船&カヌー！！

四万十下流域でフロートラフト！！

四万十川水中探検隊！！

四万十川フリークルーズ

川エビ伝統漁法「ころばし」

川エビ伝統漁法「エビたま」

四万十伝統のうなぎ漁

四万十川支流で川遊び

高級食材ツガニを捕まえる

大正町市場の新名物「久礼井」

川漁師と作る四万十川の漁師飯

川漁師と作る四万十川の漁師飯ミニ

椎茸収穫&販売体験

新聞バック作り体験

マイ箸作り体験

お茶摘み体験とお茶の入れ方

紅茶の茶摘み体験と紅茶の入れ方

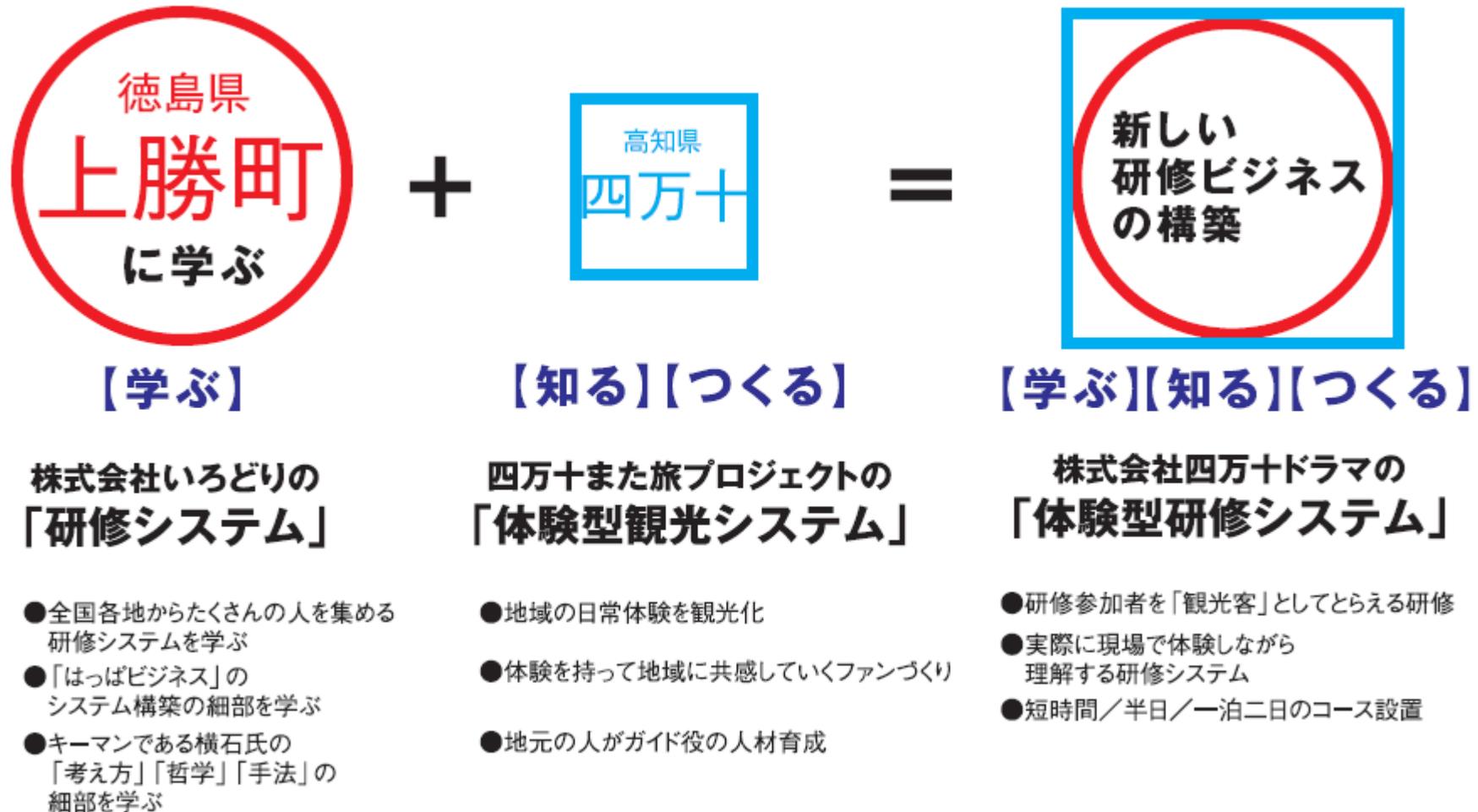
鮎焼きと沈下橋



プロジェクトのロゴマーク



# 地域間・団体間連携で新しいビジネスを



## 四万十ドラマ成功の秘訣

- 四万十ドラマは、三セク民営化の事例
- 民間企業となり、さらなる事業拡大に向けたアイデア
- 「こんなものが・・・」が、意外と売れる
- 誘致ではなく、有るもの（地域資源）で勝負